

## 協働のまちづくり協議会（第2回）議事概要

《日 時》	令和2年8月18日（火）14時30分～17時15分
《場 所》	松戸市中央保健福祉センター地下会議室
《委 員》	犬塚 裕雅 会長、杉浦 利彦 副会長、長江 曜子 委員、 佐藤 秀樹 委員、牧野 昌子 委員、小川 早苗 委員、 秋山 和敏 委員、笹川 昭弘 委員、（欠席）坂野 喜隆 委員
《傍聴者》	非公開

### 1 開 会

※欠席者報告・委員会定数確認、配布資料確認、諮問読み上げ

### 2 協働のまちづくり協議会 会長挨拶

### 3 議 題

#### (1) 令和3年度協働事業 第一次選考について

<提案事業 第一次選考>

##### ①料理教室を通じた父親の意識改革事業

協働事業として選定すべきであるとした。

《付帯意見》

- ・来年度の事業ではありますが、新型コロナウイルス感染予防のための対策案を議論しておいてください。
- ・多様な家族形態を踏まえて、この事業の参加者像をきちんと定め、参加者同士が持続的につながっていくような仕掛けを考えてください。
- ・事業開始から3年程度の期間でどのような成果を出していくかを考え、団体と男女共同参画課で共有した上で事業計画書に記載してください。

##### ②「まつどの介護」プロモーション事業

協働事業として選定すべきであるとした。

《付帯意見》

- ・作成したプロモーションビデオの活用策を考えて事業計画書に記載してください。
- ・事業開始から3年程度の期間で、どのように事業を展開していきたいか、団体と介護保険課で共有した上で、事業計画書に記載してください。

③松戸のイメージ向上のためのコミュニケーション事業  
協働事業として選定すべきであるとした。

《付帯意見》

以下の点を踏まえて事業計画書を作成してください。

- ・公金を投入する性格上、モデル報酬が大部分を占める報償費は適当なのか。

【担当課に対して】

- ・類似しているインターネットサイトがある中、この団体と協働するという意味はあるのか。
- ・紹介する飲食店の選定基準をどのように設け、他の店との釣り合いをどのように考えているのか。紹介する飲食店数もどの程度考えているのか。
- ・市としてこの事業が人口増加につながると考えているのか。

(2) その他

事務局から、令和3年度協働事業・市民活動助成事業のプレゼンテーションと本審査について説明した。

5 閉会